

横浜市総合リハビリテーションセンターにおける微量採血のための 穿刺（せんし）器具の不適切な使用について

1 概要

横浜市総合リハビリテーションセンター（港北区鳥山町1770、センター長 田中 理、指定管理者：社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団）において、採血用穿刺器具（針の周辺がディスポーザブルタイプでないもの）を複数の患者に対して使用していました。

2 経過

横浜市健康福祉局から各医療施設管理者あて依頼（「微量採血のための穿刺器具（針の周辺部分がディスポーザブルタイプでないもの）の取扱いに係る周知徹底及び調査の実施について（依頼）」（平成20年6月6日付け）及び国等からの情報に基づき、当該器具の使用状況について内部調査を実施しました。

その結果、14人の患者に対して不適切に使用していたことが判明しました。

3 使用状況

(1) 使用施設：横浜市総合リハビリテーションセンター診療所、障害者支援施設

(2) 製品名：ニプロフリースタイルライトショット

(3) 製造販売業者：ニプロ(株)

(4) 使用していた時期：平成18年1月～

(5) 使用目的：入院患者、入所者の血糖検査のために使用

(6) 使用状況：針は1回の使用ごとに交換していましたが、器具の針周辺部分をアルコールで消毒し、複数の患者に使用していました。

4 今後の対応

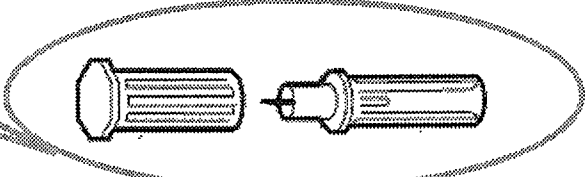
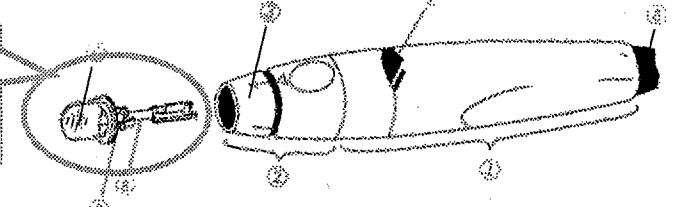
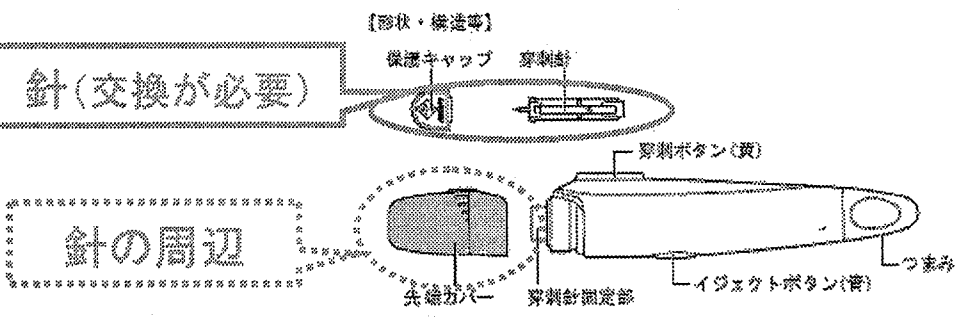
平成18年1月以降、誤った使用方法により採血を行ってしまった患者に調査状況等をお知らせしました。

また、近日中にこれらの患者に対して、検査を実施します。

微量採血のための穿刺器具について

	針	針の周辺	本体	備考
器具全体が ディスポーザ ブルタイプで あるもの	交換が必要			単回使用専用
針の周辺部分 がディスポー ザブルタイプ であるもの	交換が必要		交換は しない	複数人使用可
針の周辺部分 がディスポー ザブルタイプ でないもの	交換が 必要	交換は しない	交換は しない	複数人使用不 可(針を交換して も「針の周辺」に付 着する血液からの 感染が否定できな いため)

微量採血のための穿刺器具について

		備考
<p>器具全体が ディスプレイ ザブルタイプ であるもの</p>	<p>単回使用</p> 	<p>単回使用専用</p>
<p>針の周辺部分 がディスポー ザブルタイプ であるもの</p>	<p>針の周辺を 含めて交換</p> 	<p>複数人使用可</p>
<p>針の周辺部分 がディスポー ザブルタイプ でないもの</p>	<p>針(交換が必要)</p> <p>針の周辺</p> 	<p>複数人使用不 可(針を交換して も「針の周辺」に付 着する血液からの 感染が否定できな いため)</p>